人生劇場　青春篇（1958）

メディア 映画
ジャンル
製作国　日本
色彩　Color
初公開日 1958/11/23

【解説】
　尾崎士郎による同名小説を、椎名文が脚色し杉江敏男が監督した。「青春篇」は1936年の内田吐夢版、1952年の佐分利信版に続く再映画化。
　明治末期、横須賀村の辰巳家に生まれた瓢吉は、父の瓢太郎に厳しく育てられていた。中学に入った瓢吉が学校で問題を起こしても、父は気骨のある人間になれと励ますだけだった。しかし中学を卒業して家に戻ると、父はすでに老いぼれていた。瓢吉は早稲田大学に入学、校内に学園と関係のない大隈侯夫人の銅像が建てられると知り、教壇にのぼり生徒たちに訴えかけた。そのころ借金にあえいでいた瓢太郎が、自分に仕える吉良常に遺言を託し自殺してしまう。瓢吉が家に戻ると、そこには吉良常と母のおみねだけがいた。

【クレジット】
監督　杉江敏男
製作　佐藤一郎
構成　八住利雄
原作　尾崎士郎
脚本　椎名文
撮影　完倉泰一
美術　村木忍
音楽　神津善行
出演　池部良
　　森繁久彌
　　志村喬
　　滝花久子
　　草笛光子
　　東野英治郎
　　太刀川洋一
　　三船敏郎　　Toshiro Mifune

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。　　Copyright (C) 2026 Stingray. All Rights Reserved.